

### (3) 教育研究体制の充実

教育研究体制の充実のため、情報教育センターのパソコンリプレイス等、PublicNaviハードウェアリプレイス、防災対策の強化、「国際教育充実」に係る交通広告、独立型屋外喫煙所の設置、日進市土地の購入、遊休地フェンス囲い工事、10号棟ウッドデッキ改修工事、11号棟パソコンリプレイス及びプレゼンテーションシステムリニューアル、上空通路目隠しパネルの設置、12号棟家具什器等の追加購入、屋内温水プール各種点検、総合英語学科届出申請に係る調査、障がい学生支援のための改修工事、1号館中央監視室警報監視盤更新工事及び学生部長室の設置、2号館講堂天井耐震改修工事及び関連工事、PCB（ポリ塩化ビフェニル）含有物の廃棄、クリニックのレントゲン用カセット購入及び眼科ファイリングシステムの保守、淑友館の補修工事等を行った。

### (4) 第2号基本金の組入れについて

現状、長久手キャンパス1号棟及び2号棟は1975年(昭和50年)竣工の築41年、3号棟は1976年(昭和51年)竣工の築40年が経過している。文部科学省の指針による鉄筋コンクリート造校舎の改築までの年数は概ね40年程度とされており、建物の耐久性を高めるとともに、昨今の私学情勢を鑑み、建替えるための10年の資金計画を行った。

## 3. 中学校・高等学校について

中高6年一貫教育が、中高の接続によって生み出された余裕によって、より深く体系的な教育の実現を目指しているのと同様に、ICT教育に求められるものも、処理できる情報量の多さや、その操作技術の習得だけに止まるべきものではなく、情報収集や整理をICT技術に任せることにより、コンピュータでは扱えない創造的な教育を可能にすることである。AIの導入などによって、現存する職業の半分以上が消滅するだろうと言われる時代に必要とされるのは、技術の高度化のみに止まらず、人間本来の豊かな未来と可能性を手繰り寄せる教育だと考えられる。

平成29年度は校内LANネットワーク機器の更新と、西棟エリアの教室への無線LANの整備を行い、整ったネットワーク環境下での多様な授業が可能になった。また、記念会堂屋内プールの通路、階段、更衣室は、建設以来30年以上が経過し、床、壁面、ドア等の劣化に対処するための塗装、建物補修を行い、併せて、湿気カビ防止のための通気・換気設備を更新した。また、経年劣化による汚れ、脱色、破損等が目立った風除室、エントランスホール、ギャラリー等の壁及び床の塗装・張替え工事を行い、快適な利用環境を整えることができた。